

令和6年第4回総務文教常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和6年5月20日（月曜日）	開会	9:55	閉会	14:50	会議場所	別海町議会 委員会室2	
委員の出欠	1 番 市川 聖母 出席	2 番 吉田 和行 出席	8 番 田村 秀男 出席	14 番 佐藤 初雄 出席	15 番 戸田 憲悦 出席			
出席説明員	総務部長		総務部次長兼総務課長		総合政策課長		情報広報課長	
	伊藤 輝幸	出席	寺尾真太郎	欠席	松本 博史	出席	山田 哲哉	出席
	財政課長		税務課長		防災基地対策課長		尾岱沼支所長	
	角川 具哉	出席	松田 勝広	欠席	岩口 裕昭	出席	大坂 恒夫	出席
	西春別支所長		総務課主幹		総務課主幹		総合政策課主幹	
	小村 茂	出席	佐藤 亮	欠席	武田 聖士	欠席	佐藤 貴也	出席
	防災基地対策課防災監		防災基地対策課主幹		防災基地対策課主幹		税務課主幹	
	三瓶 秀憲	欠席	深川 淳一	出席	橋本 達也	欠席	武田 妙子	欠席
	広報情報課主幹		防災基地対策課主幹		財政課主査		財政課主査	
	伊藤 武史	欠席	寺澤 淳司	欠席	高橋 克彦	欠席	浦部 裕美子	出席
	総合政策課主査		総合政策課主査		税務課主査		財政課主事	
	人羅 茜	欠席	大西 廣和	出席	竹本 誠	欠席	沼倉 正広	出席
	選挙管理委員会		書記					
	書記長		書記					
	寺尾真太郎	欠席	佐藤 亮	欠席				
	別海消防署		別海消防署副署長		別海消防署副署長		別海消防署管理課長	
	山田 勝人	欠席	山桑 貴光	欠席	西塚 隆幸	欠席	伊原 貴司	欠席
	別海消防署予防課長		別海消防署警防課長		別海消防署警防課主幹			
	高橋 和己	欠席	太田 裕司	欠席	佐藤 和美	欠席		
	教育部長		生涯学習センター長兼中央公民館長		指導主幹		指導参事	
	宮本 栄一	出席	福原 義人	欠席	稲村 和典	欠席	瀬川 航平	出席
	<small>学務・スポーツ課長兼総合スポーツセンター館長</small>		<small>学校教育課長兼学校給食センター長</small>		生涯学習課長		西公民館長	
	斎藤 陽	出席	池田 卓也	出席	木戸口 誠	欠席	小村 茂	欠席
	東公民館長		図書館長・郷土資料館長他		学務・スポーツ課主幹		学務・スポーツ課主幹	
	大坂 恒夫	欠席	堺 啓	欠席	高津 寛人	欠席	立澤 雅彦	欠席
	生涯学習課主幹		学校給食センター主幹		中央公民館副館長		西公民館副館長	
	恒川 敦史	欠席	平下 奈津子	欠席	今野 学	欠席	佐藤 政士	欠席
	東公民館副館長		郷土資料館副館長		郷土資料館主幹		学務・スポーツ課主査	
福原 仁史	欠席	石渡 一人	出席	戸田 博史	出席	武田 文吉	出席	
学校教育課主査		学校教育課主査		図書館主査		学務・スポーツ課主任		
戸野 晶雄	欠席	高橋 美香	欠席	吉田 美奈子	欠席	久保田 俊	出席	
出納室		会計管理者						
入倉 伸顕		欠席						
監査委員事務局		事務局長						
竹中 利哉		欠席						
委員外の出席	議長	西原 浩				合計	1名	
事務局職員	局長	干場 富夫				合計	1名	
傍聴者数	一般	0名	報道関係者	0名		合計	0名	

令和6年第4回総務文教常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 14番 佐藤	9:55 開会
	出席委員5名、欠席委員0名、委員外1名、会期1日 挨拶
総務部長 伊藤	挨拶及び概要説明
	・本日は所管事務調査3件、その他1件を報告させていただく。
委員長 14番 佐藤	議事1 所管事務調査について
	(1) 公共施設跡地の利用計画について
財政課長 角川	・資料により説明
委員長 14番 佐藤	質疑
委員 8番 田村	・現在草刈りなどを含めてどのような管理をしているか伺う。
	・これらの跡地をどうするかは、横断的にされているのか伺う。
	・地元との協議を進めているのかどうか伺う。
	・構想が無いにしても個別法が進んでいくが、それをどのように調整しているのか伺う。
総務部長 伊藤	・最後の質問だが、「構想が無いにしても個別法が進んでいく」との質問内容だが、具体的にどういったものかご教示願いたい。
委員 8番 田村	・例えば福祉の計画だとか進む中で、そういう個別法の中で何かを造るなど進んでいっては困るかなと思う。それと全体の構想との関わりの中で、そう言うのが無い中で個別法だけで空地の利用を進めていってるのか伺いたい。
総務部長 伊藤	・個別法とは町の計画という認識で良いか。
委員 8番 田村	・例を挙げれば、例えば別海中央小中学校が義務教育学校にするということで、基本構想のお金を3,000万今年つけてやると言っているの、そう言う計画があるが町全体の構想が無い。今後個別法が先行してやっていくのが町の方針なのか伺いたい。
財政課長 角川	・管理の状況は一部別海中央地区の旧病院跡地や旧保健センター跡地などについては、委託しながら草刈りしているが、郊外の旧光進小中学校や旧別海小学校などについては特に何もしていない。
	・次に、跡地の横断的対応は、特に検討はしていないが、7次計の見直しの中で特に市街地に係る跡地については、その中で進めていきたい。
	・地元との協議については、例えば旧光進小中学校は地元で使わなくなった後には、もし地元のイベントなどで使いたいという要望があれば、無償で貸す形にしているの、要望があれば使っていただく。今現在特にどこかに貸す予定も無いことから、そのような取扱いで、今は利用されていないことから、町内会に活用してほしいということで、そういう話をさせていただいている。
総務部長 伊藤	・補足するが、様々な計画がある中で、進んでいるもの進んでいないもの様々だと思うが、町の要の総合計画の中で方向性がされていないところがある。関係する所管が横断的にやってきたかと言えば、私ども弱かったところと認識している。総合計画も折り返しになったので、その中で方向性を見いだしていかなければならない。これまで出来ていなかったことを見直ししていく。
委員 8番 田村	・跡地の草刈りの関係では、行き届いていない所もあることから早めに構想を作してほしい。結果的に早めに構想をたてなければならぬが、構想を立てる前に地元との協議を進めていないと構想はできない。総合計画も1年遅れの話で将来の計画なので、基本的なビジョンが無いと中々進まない。出来る限り早い段階で横断的な議論をしていかないとビジョンは出来ないの、宜しく願います。
総務部長 伊藤	・例えば、中西別小中学校の統廃合の関係で、地元の方が未来会議という組織で動いていただいている、非常にすばらしい事とされていて、これが今後の1つのモデルケースにもなってくるかなとされていて、行政も参画し意見交換などしていきたい。総合計画は町の将来

令和6年第4回総務文教常任委員会 要点記録

	<p>を見据えてしっかり作っていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に質疑あるか。 ・質疑なし
委員長 14番 佐藤	<p>(2) 地域おこし協力隊推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料により説明 質疑 ・当初予算で人数等予算化しているが、確保の見通しを伺う。 ・色んな形態があるが、その成果をどのように反映するか伺う。 ・その成果を検収するのはどの課で誰がするのか伺う。 ・その成果品を実際にやるかやらないかは予算もかかると思うが、誰が許可するか伺う。 ・事業の見通しについては、本日示した資料の人数以外3名の着任が予定されていて、それで27人となり残りが20人の枠となるが、これについては様々なミッションがあって、それを転職サイトに公開したばかりなので、これが本当に47人になるかどうかは今現在は見通しがたっていない。 ・その成果の反映については、採用型の職員については会計年度任用職員なので、町の事務分掌に即してそれぞれの所管課に割り当てられた事務を執行している。これは所属長が目の前で確認できるようになっている。職場にいない委託型については、全て個人事業主として業務委託契約をしていて、1月ごとに報告書を頂いていて、直接持参した中で活動した内容を口頭で説明してもらい担当者がヒアリングを行っている。それを踏まえて、それぞれの所属課の所属長が検定を行っている。 ・地域おこし協力隊が、やりたい活動があった時に誰が許可をするかは、採用型はそれぞれの職場のチームとして取り組んでいるので、全て叶うわけではないので、そのことは採用の段階から説明しながら、職員と同様のミッションにあたっていただく。委託型は自由度は高いが委託型は2種類あって、フリーミッション型は民間の就業や自分で会社をおこすことを視野に入れた活動なので、1月ごとでは無く3年間の中で、その人が3年後に定着に繋がるかを長期的に見ていく必要がある。もう1つの活動提案型の町とやりたいことがマッチした方については、町としてその職場がこの人にこういう活動をしてほしいというのが明確にあるので、毎月の報告の時に期待どおりに進んでいるか確認している。実際に担当課が確認したことの見える化については、協力隊の方へSNSで発信してくださいと言ったことがなく、仕様書にも書いていないが、協力隊の方が自らアカウントを作って自主的に発信して、これを見て町民の方が理解いただいている。それとは別に「ノート」というツールがあるが、このツールにそれぞれの隊員がどんな活動をしているか発信する準備をしている。それを見ると各隊員がどんな活動をしているのかわかるので、議員や町民の方にも見てもらいたいのので、その準備を進めている。
委員 一同	
委員長 14番 佐藤	
総合政策課主査 大西	
委員長 14番 佐藤	
委員 8番 田村	
総合政策課長 松本	
委員 8番 田村	
総合政策課長 松本	

令和6年第4回総務文教常任委員会 要点記録

		準備をしている。急遽の対応であったが隊員は一生懸命頑張っている状況。
委員	8番 田村	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし隊員の熱い思いに対して、それぞれの所属長や隊員が戸惑う場面もみられたが、そこを調整するのも総合政策課長の仕事なので、これまでもそれぞれの所属長の相談にのったこともあったり、配置の転換の対応もした。今後は所属長同士が集まるような場を1度設けてみたい。
議長	西原	
総合政策課長	松本	<ul style="list-style-type: none"> ・総務の関心の地域おこし協力隊に限るかどうかは別にして、隊員の方とも意見交換の場をもちたいと考えているのでその時には協力願いたい。
議長	西原	<ul style="list-style-type: none"> ・12番の徳田さんは、どこで畜産の研究をしているか。
総合政策課長	松本	<ul style="list-style-type: none"> ・徳田隊員は若い頃スポーツ合宿で大学時代に別海町で合宿をしていた経験があって、その時に出会った中西別の酪農家の方と縁が続いていて、その酪農家の方の研究を手伝ったり、自然栽培の野菜作りにチャレンジをしている方です。
議長	西原	<ul style="list-style-type: none"> ・中西別を中心に活動しているということで良いか。
総合政策課長	松本	<ul style="list-style-type: none"> ・どれだけ地域で交流しているかはわからない。
議長	西原	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の資料は見える化ということも含めて、どういう地域で活動しているのかを示してくれると、個人事業主に近いような、ある意味商工会員にも近いような形にも見えるので、どういう地域でフィールドでやっているっていうのを、広く町民に伝えることで輪が広がると思うので、そういう発信の仕方をしてくれたらと思う。
総合政策課長	松本	<ul style="list-style-type: none"> ・周知の方法を考えていきたい。また、協力隊の「協力」の意味などもあり、広報に特集を組むなど考えていきたい。
委員	2番 吉田	<ul style="list-style-type: none"> ・協力隊員の位置づけというか、どのように接していったら良いのかという部分もあり、そういった広報・周知は進めてほしい。
委員	1番 市川	<ul style="list-style-type: none"> ・今の時点で役場の人から見て地域おこし協力隊の方がどういう状況というか、別海町を楽しんでいるように見えるか。
総合政策課長	松本	<ul style="list-style-type: none"> ・別海町ライフを楽しまれていると思う。声として多いのは食べ物美味しい、人が良い。私達担当課から見ると、熱意のある方を迎え入れることができ良かったと感じている。
委員長	14番 佐藤	<ul style="list-style-type: none"> ・他に質疑あるか。
委員	一同	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑なし
委員長	14番 佐藤	(3) 地域住民の広域生活交通路線の確保について
防災・基地対策課主幹	深川	<ul style="list-style-type: none"> ・資料により説明 ・町内では、民間バス事業者の運行する路線と合わせて9路線が運行されており、その内尾岱沼線トドワラ号は期間限定で運行している。本町の令和5年度の地域生活バスの利用実績は、4路線で30,134名が利用され、別海高校への通学利用者が多く、全体で一般利用者の割合は15.7%となっている。各路線から高校前で西春別線に接続し、共春から釧路行のバスへ接続が可能となっており、令和5年度の実績では、227名が利用されている。 ・令和5年度のバス路線の経費については、地域生活バスが4,600万円、民間バス路線が約5,500万円を負担し生活路線の維持確保をしている。
委員長	14番 佐藤	質疑
副委員長	8番 田村	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの時間帯について、観光用の日程や病院に通院する人、通学の時間帯を考えた上での各バスターミナルの時間を設定しているのか。
防災・基地対策課主幹	深川	<ul style="list-style-type: none"> ・通学生や病院の開く時間を考慮して地域生活バス路線の時間等を設定している。
副委員長	8番 田村	<ul style="list-style-type: none"> ・地域限定でやっている観光用は、1日1便しかないが、そこも観光的に考えているということで理解した。
委員	1番 市川	<ul style="list-style-type: none"> ・「しまふくろう（共春）」の関係で、そこで高校生が乗車するが、その時点で満載となっている。半数以上の子は立ったまま学校まで行く。健康状態を考えれば東京エリアなどは1時間位立った状態は普通だが、そこでは学校の生徒以外の人は1名しか乗らない。その方が必ず病院か中西別まで乗って、また病院からもう1名乗るっていう外部の方2名だけの状況。

令和6年第4回総務文教常任委員会 要点記録

	<p>そう考えると、生徒さんがほとんどで、座れない生徒さんが半数いることを考えると、学校は学校で部活バスではないが、朝も学校のバスを出せば補助席を含め全員座れる状況が想定される。別海高校に行く通学のための手段が割と悪いということで、別海高校を進学先から外しているという親御さんが割といるみたいなので、その事を考えるとそういう事も一理あるかと思う。後、病院の時間に合わせてというのもわかるが、病院は行けるがその後がその時間だと行けない。例えば買い物や図書館など。病院だけに行行って帰ってくる状況。この路線のままの状況で行くのか、それとももう一度分解して考えていくのか、もし何か検討材料があれば伺いたい。</p>
防災・基地対策課主幹 深川	<ul style="list-style-type: none"> ・通学生が立った状態で乗車している話だが、現状では西春別線のバスは83名乗りのバスで、座席は48席あって、中西別から数名が立つ状態になるが、路線バスの仕様なので安全運転で運行している。現状、高校生で50名程度乗車し、後は一般客が数名で、83名まではいっていないが、中西別から数名が立ってる状態は承知している。 ・病院の関係だが、地元事業者のハイヤー利用や、図書館利用の関係では時間帯はずれるが阿寒バスが市街地を運行しているので、それを利用していただく方法で今のところは考えている。
委員 1番 市川	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の細かな部分は考えていないということで良いか。
防災・基地対策課主幹 深川	<ul style="list-style-type: none"> ・現状は話したとおりだが、今後検討していきたい。
防災・基地対策課長 岩口	<ul style="list-style-type: none"> ・補足となるが、その検討についてはまだ着手していないが、今年の3月に福祉の計画の見直しがあるということで、その中で交通部門についても検討していかなければならないということになっている。当課では通院乗合ハイヤーを所管しているが、福祉部局の事業も同じようなサービスの内容になるので、横断的に検討していきたい。
委員 2番 吉田	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会は違うが、福祉の交通の拡充をしていくというのは、酪農地帯で夫婦共働きで、介護している親がバスターミナルまで行けないので、交通がどうにかならないかという話があったと思うが、横断的に関係する課と打合せやすり合わせをするのは、これからということで良いか。
防災・基地対策課長 岩口	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細は今後となるが、都市部のような細かなバス路線のサービスは、費用をいくらでもかければ可能な部分もあると思うが、今後検討していきたい。
委員 2番 吉田	<ul style="list-style-type: none"> ・別海町は土地が広いので費用負担を考えると中々難しいし、どういう調整をとっていくのかを踏まえて、バスではなくて、自家用車に関して高齢者の免許の返納の促進もあると思うが逆に、別海町のような土地が広く生活交通を町が全部負担するというのは金額的にも難しい。反対に考えた時に、高齢者に運転の技術の方をサポートしていくという考えがあるかお聞きする。
総務部長 伊藤	<ul style="list-style-type: none"> ・ライドシェアなどの仕組みが出てきているが、別海町ではライドシェアは難しい状況で、その仕組みは、既存のハイヤー・タクシー会社が運行を管理することとなり、現状管理が難しい話も聞いているが、町としてもその管理の課題について何か支援ができないかのスタートラインに立ったところ。また、先ほどの質問にあった支援について、質問内容を再度お聞きする。
委員 2番 吉田	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの質問は運転技術の講習みたいなもので、自動車学校などでは年齢ごとに適正検査をやっていると思うが、そうではなく、町が主催して運転講習で自転車講習の自動車免許版で、高齢になった時に判断状況の遅れなど、年齢がいったから免許返納ではなく、判断が遅れていって事故を起こす可能性が増えてきた時に、危ないからと言うのはわかるが、まだまだ自身で自動車を運転できる。でも自分は大丈夫だと思っても家族が反対するなど色々あると思うが、免許を返納したから一気に行動範囲が狭くなって、介護の確率が上がったというデータもあると思う。そういうことも含めて自分で生きていけるサポートをするのも考えに入っているのかどうかを聞きたいが、絞って言うと、自動車の運転のサポートをやっていくのかどうかをお聞きしたい。
防災・基地対策課長 岩口	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートという形になると、交通安全の分野で3月までは所管していたが、現在は町民生活担当となる。昨年までの実績で言うと、交通安全という部分でその様な施策を実施したということは無いが、警察とも協力して高齢者の交通安全教室などはやっていた。

令和6年第4回総務文教常任委員会 要点記録

副委員長	8番	田村	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線で全部を賄うというのは無理と思う。タクシー事業者が人手が足りなければ、町から何らかの支援をするなどすれば賄えることにも繋がる。このライドシェアは有効な手段と思うので今後考えていただきたい。
総務部長		伊藤	
議長		西原	<ul style="list-style-type: none"> ・有効な手段と考えている。問題を精査した上で町がやるべき事、やらなければならない事を整理していきたい。 ・マナーのことを聞か、先ほど定員と座席の話があったが、子ども達は部活等で荷物が2・3個あると思うが、早く乗車した人が座席にも荷物を置いて、その子が3年生だったら1年生は「荷物をどけて、座らせて下さい」とは中々言えなくて、席はあるが座れないということを何年か前に聞いたことがある。新年度にそういうことを指導をしないと中々浸透しないと思うが、そういう状況をどう捉えているのか。
防災・基地対策課主幹		深川	
議長		西原	<ul style="list-style-type: none"> ・年は何回かは指導なりはしていることで良いか。 ・高校で行っている。
防災・基地対策課主幹		深川	
委員長	14番	佐藤	<ul style="list-style-type: none"> ・他に質疑あるか。 ・質疑なし
委員		一同	
委員長	14番	佐藤	11:05 休憩
委員長	14番	佐藤	11:12 再開
委員長	14番	佐藤	議事2 その他
			(1) 別海町まち・ひと・しごと創成総合戦略について
総合政策課主幹		佐藤	<ul style="list-style-type: none"> ・資料により説明
委員長	14番	佐藤	確認事項
副委員長	8番	田村	<ul style="list-style-type: none"> ・一体化をするということで、今見直しをしている総合計画の中に「総合戦略」という言葉で増やすということだが、元々総合戦略は1期と2期で進んできているが、その名前が無くなるのか。 ・第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法という法的根拠に基づいて国及び地方自治体に求められているが、まち・ひと・しごと創生法という法律は変わらないが、各自治体が人口戦略をどういったタイトルでやっているかと言うと、デジタル田園都市国家構想総合戦略となっている。第2期のまち・ひと・しごと創生総合戦略は終わって、デジタル田園都市国家構想総合戦略という名前で地方版の人口戦略と地方創生の計画を令和7年度からスタートする。
総合政策課長		松本	<ul style="list-style-type: none"> ・そうすると創生法が無くなる限り、こういう総合戦略は作っていかねばならないが、総合計画の中で溶け込ませてやっていく考えか。 ・ページの作りこみの中で溶け込ませた方が総合計画に絡むものが多いので、一体化させて見せた方がわかりやすいという考え。 ・見せ方が一本化するということで、2つの軸は変わらずという理解か。 ・これまでの反省が別々に作っていった結果、例えば庁舎内の結果の取りまとめも別々に動いていた、この計画にまつわる色々な町民団体も別々に動いていたが、全て総合計画に基づいて事業が構成されているので、そうすると一元化して効率よく取り組むべきことが、引き継がれた議論となっていた。また必ず人口推計が伴うが、今のままだとずれも伴うので一体化して取り組まねばならないと考える。
副委員長	8番	田村	
総合政策課長		松本	<ul style="list-style-type: none"> ・他に確認あるか。 ・なし
委員	2番	吉田	
総合政策課長		松本	11:32 休憩
委員長	14番	佐藤	13:00 再開
委員長	14番	佐藤	挨拶
委員長	14番	佐藤	議事1 所管事務調査について

令和6年第4回総務文教常任委員会 要点記録

	(4) 小中一貫教育及び別海高等学校の魅力向上や支援事業について (現地調査：ヤチカンバ群落地、郷土資料館、別海中央小学校) ・現地で口頭により概要説明 随時質疑応答
委員長 14番 佐藤	閉会挨拶
	14:50 閉会